

行 役 場  
所 刷 所  
北 洋 印 刷 株 式 会 社



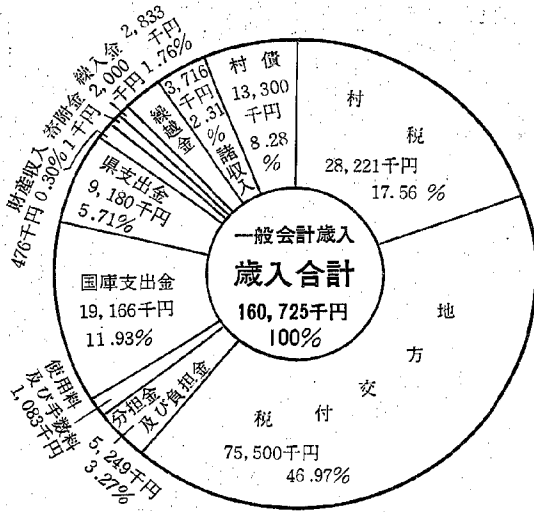
団 結 と 発 展 を 象 徴 し た  
「 湯 東 村 の 村 章 」

昭和四十三年度

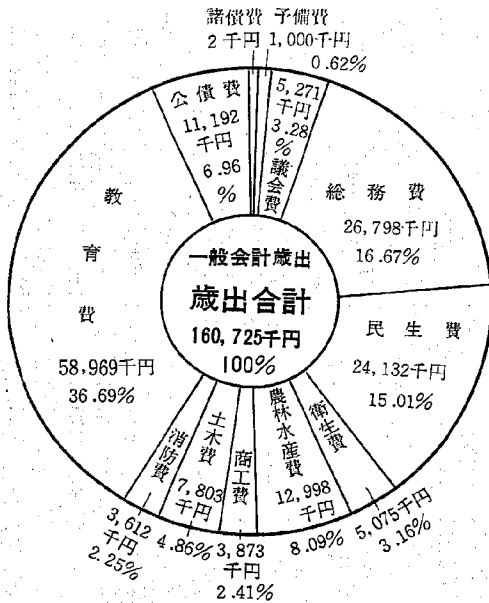
# 湯東村一般会計予算

## お知らせ

総務課



三月定例村議会に於て別表のとおり一般会計予算が承認されましたのでお知らせいたします。総括的に申し上げますと、歳入につきましては、一六〇、七二五千円で前年度一五五、六九六千円で前年度より四五、〇二九千円増であります。



内訳では(別表参照)  
 一般財源 一〇、〇三九千円  
 特定財源 五〇、六八六千円  
 繰越額 一六〇、七二五千円  
 であります。  
 歳出につきましては歳入と同じであります。性質別にみますと、消費的経費は 六八、三二七千円、投資的経費は 六六、三九七千円、維持修繕費 七、一三二千円、出資金貸付金 三、八八四千円、公債費 一一、一九二千円、繰入金 二、八九四千円、予備費 一、〇〇〇千円、総額 一六〇、七二五千円 であります。

## 天気予報

全般概況 四、五月は一時的に低温の現われることもあり、日本の東方洋上で高気圧が優勢な日と比較的多いでしょう。雪崩や融雪に注意が必要です。六月は中頃からつゆに入るみこみです。  
 四月概況 天気はおおむね周期的に変るみこみですが、中旬の前半頃天気がくずれやすく、又月末から五月初めにかけて一時寒冷な高気圧の影響で晩霜のおりるところがあり、また五月の平均気温は高め、又降水量と日照は平年並のみこみです。  
 五月概況 晴れる日が比較的多、南よりの風で一時かなり気温の高くなる日があり、又南岸の前線の影響で一時雨量が多くなるみこみです。  
 平均気温は高め、降水量は平年並か多め、又日照は平年並のみこみです。  
 六月概況 月の中頃からつゆに向い梅雨前線の影響で一時的に低温が現われたり雨が降りやすくなるみこみがあり、平均気温は平年並、降水量は多め、又日照は少なめのみこみです。

## タバコは

### 村内で

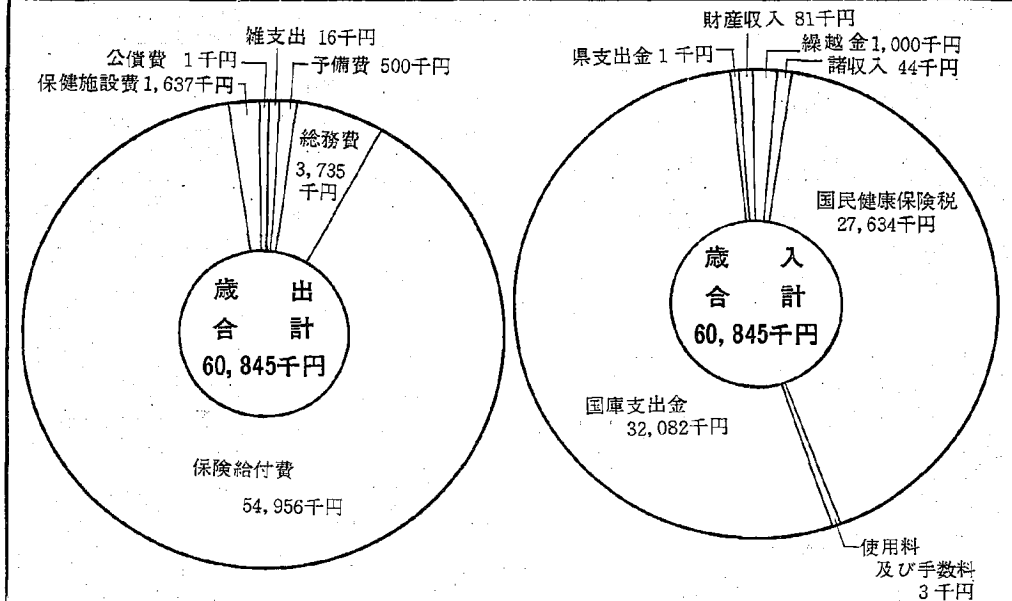
### 買いまじり

控除項目	昭和42年度(現行)	昭和43年度(改正案)
基礎控除	100,000円	110,000円
配偶者控除	80,000円	90,000円
扶養控除	扶養親族1人について40,000円ただし、配偶者控除を受ける配偶者がいない場合は、扶養親族のうち1人については、70,000円	扶養親族1人について50,000円ただし、配偶者控除を受ける配偶者がいない場合は、扶養親族のうち1人については、80,000円
障害者控除	障害者1人について50,000円	障害者1人について60,000円(特別障害者については80,000円)
老年者控除 労働者学生	それぞれについて50,000円	それぞれについて60,000円
生命保険料控除	15,000円と15,000円をこえる金額(その金額が15,000円をこえるときは、15,000円)の2分の1の合計額(最高控除額22,500円)	15,000円と15,000円をこえる金額(その金額が20,000円をこえるときは、20,000円)の2分の1の合計額(最高控除額25,000円)
専従者控除	(イ) 青色申告の場合 事業専従者1人につき120,000円が限度 (ロ) 白色申告の場合 事業専従者1人につき80,000円が限度	(イ) 青色申告の場合 事業専従者1人につき170,000円が限度 (ロ) 白色申告の場合 事業専従者1人につき110,000円が限度

昭和四十三年度村税の納期限は次の通りであります。期限内にかならず完納いたしますよう。

納期	税目	期別
四月	固定資産税	一期

村税は納期限内に完納しよう



昭和四十三年度 国民健康保険特別会計予算

四十三年度の国民健康保険特別会計予算は療養給付費(医者等への役場支払額)の増加により、歳入歳出予算の総額はそれぞれ六〇、八四五千円となり前年度当初予算より一五、五六三千元の増加となっております。

歳入を見てみますと国民健康保険税二七、六三四千円歳入予算の四五、四〇%であり、使用料及び手数料三千円、国庫支出金(負担金及補助金)三三、〇八二千円で歳入予算の五二、七%歳入支出金一、〇〇〇万円、諸収入四四四千円となっております。

歳出を見てみますと総務費二、七三五千円、保険給付費五四、九五六千円(医者への支払等五四、六六九千円、助産費、葬祭費、育児手当金で五三〇千円)で歳出予算の九〇、三%を占めています。

保健施設費一、六三七千円、公債費一、〇〇〇千円、諸支出金一、六六六千円、予備費五〇〇千円となっております。

国民健康保険税の増加は医療費との関係が深く、四十二年度に対し四十三年度に対する医療費の増加は一四、一九八千円(役場支払分)となっており又繰入金(積立金)一、〇〇〇千円がなくなったためであります。

皆さんで正しく医者にかかり、国民健康保険に御協力くださるようお願いいたします。

農地の異動状況

区分	昭和41年度		昭和42年度	
	件数	面積	件数	面積
農地法第3条許可件	95	97,937	111	93,049
農地法第4,5条許可件	5	2,461	12	4,997

昭和四十二年度瀧東村農業委員会 農地取得資金の金額について

納税組合加入により有利な納税 現在納税組合数は三六団体加入戸数は八三八戸に達しています。四月に固定資産税と軽自動車税を六月に村民税と国民健康保険税を納税組合長を通じて一年分を全額前納する制度です。納税に関する

月	納税項目	納期
六月	軽自動車税	全期
六月	国民健康保険税	一期
七月	固定資産税	二期
七月	国民健康保険税	二期
八月	村民税	二期
八月	国民健康保険税	二期
十一月	固定資産税	三期
十一月	国民健康保険税	三期
十二月	村民税	三期
十二月	国民健康保険税	三期
二月	固定資産税	四期
二月	国民健康保険税	四期

融資については農協では特別に御相談に応じてくださることになっております。

前納に対しては、納期前一月について一%の前納報奨金が交付され組合に対しては取扱高の一%と一戸当り百円の補助金が交付されます。

今年初めて加入される方は納税課又は納税組合長にお問い合せください。

村民税の改正について 村民税の申告は三月十五日で終了しましたが納税通知書は六月に発行されます。

現在、国会で審議中の地方税法の改正案が成立しますと、昭和四十三年度分の村民税から各種の控除が次のように引き上げられ、これに基づいて税額の計算を行います。

昭和43年3月23日執行

瀧東村議会議員一般選挙開票結果調

投票区	当日有権者数			投票者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第1投票区	282	312	594	275	304	579	97.52	97.44	97.47
第2投票区	134	148	282	132	147	279	98.51	99.32	98.94
第3投票区	259	278	537	251	267	518	96.91	96.04	96.46
第4投票区	622	688	1,310	611	657	1,268	98.23	95.49	96.79
第5投票区	211	239	450	206	236	442	97.63	98.74	98.22
第6投票区	202	225	427	197	219	416	97.52	97.33	97.42
第7投票区	194	206	400	186	202	388	95.88	98.06	97.00
合計	1,904	2,096	4,000	1,858	2,032	3,890	97.58	96.95	97.25

昭和43年3月23日執行 瀧東村議会議員一般選挙開票結果についてお知らせ

瀧東村選挙管理委員会

去る三月二十三日に行なわれまして、選挙の結果は次の通りであります。

当日の有権者数 四、〇〇〇票  
投票者数 三、八九〇票  
投票率 九七、二五%  
有効投票 三、八六七票  
有効投票内訳

(届出順)  
候補者氏名 得票数  
高橋 一三六票  
廣木 一五七票  
竹内 一五七票  
橋本 一五七票  
藤本 一五七票  
世西 一五七票

農地取得資金維持資金状況

区分	昭和41年度		昭和42年度	
	件数	金額	件数	金額
農地取得資金	22	911	19	1,017
自作農維持資金	1	30		

すが面積では四、八八八平方メートル減っており、農地法第四、五条では七件増えまして面積では二、五三六平方メートルの増減であり、農地取得資金では三万円減っておりますが金額で一〇六万円増え、維持資金では一〇六万円減、一件の申請もありませんでした。色々と農地のことと農地取得資金、維持資金等のご不明の点合せになりましたら農業委員会へお問合せ下さい。

人事往来

四月一日付

異動  
教育委員会 公民館  
出向 星野 孝子(経土課)  
採用  
経済土木課 藤本 洋子  
湯川ヨシエ(教委)  
(三月三十一日付退職)

# 昭和43年度暖候期予報にとまなう

## 稲作技術対策について

潟東村農業振興協議会

43年産米の作付を目前にして各農家におかれては種々栽培計画等を樹立のことと思いますが、潟東村米 600 キロ達成運動も2年目をむかえ、42年産米に劣らぬ収穫量をあげるべく努力したいものです。さて去る3月11日新潟気象台発表の暖候期予報によれば今年の天候も決して安心できるものではありません。天候と稲をうまくマッチさせた稲作りが大切と思われますので暖候期予報にとまなう稲作技術対策を記しましたから参考とされ又、本協議会で全農家に配布しました「稲作ごよみ」等により適切な稲作管理をお願いします。

月	旬	生育期間	予想される天候	予想される稲作上の問題点	予想される稲作技術対策
		平 坦	(新潟地方気象台発表)	平 坦	平 坦
4	上	播 種 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>春(4, 5月)の天気変化は周期的で平均気温は高めに経過する。</li> <li>4月下旬から5月上旬にかけて晩霜のおりる傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽、苗立ちは良好</li> <li>苗の生育は進む</li> <li>厚まき苗代は徒長のおそれがある。</li> <li>被覆苗代は苗ヤケがおきやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>苗が徒長するおそれがあるからうすまきにする。</li> <li>除覆時期に注意し苗ヤケを発生させない。</li> </ul>
	中				
5	上	間 隔	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨の後半には北方の高気圧が強まり、また前線の活動も活発になるため局地的な大雨や低温がけねんされる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>極早生穂重型品種は密植につとめる。</li> </ul>	
	中				下 分けつ 期間
6	上	幼穂形成期	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅雨あけは平年よりややおそく7月下旬頃から夏らしくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨による水害のおそれがある。</li> <li>出穂期は昭和42年稲作ほどには早まらないであろう。</li> <li>穂いもちの発生が多いであろう。</li> <li>台風、大雨による被害が考えられる。</li> <li>倒伏、穂発芽、登熟不良のおそれがある。</li> </ul>	
	中				出 穂 期
7	上	登熟期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風発生数は例年よりやや多く本土に影きょうする台風は3~4個ではほぼ平年並であろう。</li> <li>9月の気温は平年より低目となり秋は早冷の傾向がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋雨、低温で秋作業、乾燥に支障があらう。</li> </ul>	
	中				成 熟 期 (刈取期)
8	上	登熟期間			
	中				登熟期間
9	上	成 熟 期 (刈取期)			
	中				成 熟 期 (刈取期)

**北陸地方 暖候期予報**

今年の暖候期は天候の変動が大きく、五月を中心とした春の高温、梅雨期後半の低温や、大雨、初秋の低温などが予想されます。

春(四、五月)は中緯度の高圧帯が発達し、天気変化は周期的で平均気温は高めに経過しますが、四月下旬から五月上旬にかけて晩霜のおりる傾向があります。

梅雨期の後半には北方の高気圧が強まり、また前線の活動も活発になるため局地的な大雨や低温がけねんされます。

梅雨明けは平年よりややおそく、七月下旬頃から夏らしくなりましょう。

盛夏期の気温は、ほぼ平年並に経過する見込みですが、台風や前線の影きょうで雨量の多くなる所があるでしょう。

九月の気温は平年より低目となり、秋は早冷の傾向があります。

台風発生数は例年よりやや多く(三〇~三二個)、本土に影きょうを与える台風は三~四個で、ほぼ平年並でしょう。

なお、今年も一九六〇年以降に頻発している異常気象がおきやすいと考えられていますので、今後の一、三か月予報に十分御注意下さい。